



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内
Tel.03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan
t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



上野学園 石橋メモリアルホール + Wigmore Hall

新たな共同事業、第一弾！

藤倉大氏に共同で作曲委嘱

世界初演：2011年2月3日(木) 於 Wigmore Hall

アルディッティ弦楽四重奏団

上野学園 石橋メモリアルホールは、ロンドンの室内楽の殿堂、Wigmore Hall ウィグモア・ホール(今年開館110周年)と共同事業を始めます。

記念すべき第1回目は、ロンドンを拠点に活躍する気鋭の作曲家、藤倉大氏に、弦楽四重奏作品の作曲を依頼し、新作<Flare>が完成いたしました。

世界初演に続くアルディッティ弦楽四重奏団による日本初演は、上野学園 石橋メモリアルホールで2012～13年シーズンに予定されています。

今後、私共のホールは、Wigmore Hallと定期的に委嘱事業やエデュケーション事業などの共同制作を行ってまいります。

2011年1月11日



©Ai Ueda



©Astrid Kargerl

◆お問い合わせ

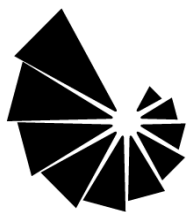
上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 学校法人上野学園内

電話 03-3843-3043 (平日 10:00~18:00)

FAX 03-3843-6254

www.ishibashimemorial.com



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

Tel. 03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan

t. +81 3 3843 3043 f. +81 3 3843 6254



The Ishibashi Memorial Hall & Wigmore Hall New Commission Project with Dai Fujikura and Arditti Quartet



©Astrid Kargerl



©Ai Ueda

World Première on Thursday 3rd February 2011

At Wigmore Hall, London

The Ishibashi Memorial Hall is delighted to announce a new relationship with [the Wigmore Hall \(London\)](#) to commission new chamber music works. The first will be a string quartet by the composer Dai Fujikura, widely acknowledged as one of the leaders of Japan's new generation of composers. The new piece '*Flare*' will receive its [world-première by the renowned Arditti Quartet on Thursday 3rd February 2011](#) at the Wigmore Hall. The Japanese première will be given by the Arditti Quartet during the 2012/13 season at the Ishibashi Memorial Hall in Tokyo.

The quartet was co-commissioned by both the Wigmore and Ishibashi Memorial Hall, and the Edinburgh International Festival. This was made possible by the generous support of the Fondation Hoffmann and its president, André Hoffmann.

This commission was planned as the first of a series of similar collaborations between the Ishibashi Memorial Hall and Wigmore Hall with the aim of fostering a longer term relationship and stimulating deeper cultural connections between Japan and the UK.

11th January, 2011

Contact:

ISHIBASHI MEMORIAL HALL

Ueno Gakuen, 4-24-12 Higashi-Ueno, Taito, 110-8642, Tokyo.

Tel +81 3 3843 3043

Fax +81 3 3843 6254

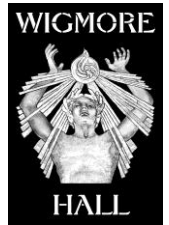
www.ishibashimemorial.com



ISHIBASHI MEMORIAL HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内
Tel.03-3843-3043 Fax 03-3843-6254
4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan
t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



藤倉 大 Dai Fujikura

1977年大阪生まれ。15歳で単身英国に渡り、トリニティ・カレッジ・オブ・ミュージックでダリル・ランズウィックに、修士課程をPRS奨学生としてロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックでエドウィン・ロックスバラに、博士課程をキングス・カレッジでジョージ・ベンジャミンに師事した。

藤倉は数々の著名な作曲賞を受賞し、すでに国際的にその名を知られている。1998年にポーランドのセロツキ国際作曲コンクールで最年少優勝に輝き、イギリスのハダースフィールド国際音楽祭作曲コンクールでも優勝。2003年に武満徹作曲賞第2位、2004年にロイヤル・フィルハーモニック作曲賞、2005年に国際ウィーン作曲賞(クラウディオ・アバド作曲賞)、2007年にドイツのパウル・ヒンデミット賞、2008年にドイツのギガ・ヘルツ特別賞、2009年に尾高賞、芥川作曲賞、2010年に中島健蔵音楽賞をそれぞれ受賞している。

藤倉はさまざまな分野の優れた音楽家たちによって支えられているが、なかでも、作曲家で指揮者のペーター・エトヴェシュは、彼のメンターとも言うべき存在で、ロンドン・シンフォニエッタでBlue Touch Paperの企画を進めるにあたって貴重な助言を与えてくれた。18ヵ月にも及ぶこのプロジェクトは作品《Fifth Station》に結実し、2004年2月、マーティン・ブラビンスの指揮でロンドン・シンフォニエッタによって初演された。この作品はさらに、クラングフォールム・ウィーンやアスコ・アンサンブルによっても演奏されている。

エトヴェシュはさらに、2005年10月のドナウエッシンゲン現代音楽祭で、藤倉の《トロンボーン、オーケストラ、ライブ・エレクトロニクスのための「Vast Ocean」》をヒルヴァーサム放送管弦楽団およびハインリヒ・シュローベル記念財団実験スタジオを指揮して世界初演した。

ピエール・ブーレーズもまた、藤倉の作品を評価し、2005年9月にはルツェルン音楽祭で音楽祭の委嘱による新作、《Stream State》の世界初演を指揮した。《Stream State》はその後すぐ、2006年のうちにドイツ、オーストリア、イタリア、日本でも演奏された。

BBCプロムスへの初登場は2006年8月で、BBCコンサート・オーケストラのためにBBCが委嘱した作品、《Crushing Twister》がチャールズ・ヘズルウッドの指揮によって演奏された。同年、藤倉の作品はシカゴ交響楽団の“Music Now”シリーズでも取り上げられた。

世界を代表するアンサンブルやオーケストラの多くが藤倉に作曲を委嘱し、演奏している。アンサンブル・モデルン、アスコ・シェーンベルク・アンサンブル、ニュー・アンサンブル、アンサンブル・ルシエルシュ、クラングフォールム・ウィーン、オケアノス、BBC交響楽団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、I.C.E、BIT20、ルツェルン祝祭アカデミー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、メルボルン交響楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団などが挙げられる。2007年には、アンサンブル・アンテルコンタンポランから創設30周年記念に向けての作品《time unlocked》を委嘱され、フランス放送管弦楽団とIRCAMの共同委嘱によるエレクトロニクスとオーケストラの作品《swarming essence》も受けている。

2008年4月、藤倉の大曲、メゾソプラノと大編成アンサンブルのための“...as I am...”が、Lore Lixenbergの歌、スザンナ・メルッキ指揮アンサンブル・アンテルコンタンポランにより、シテ・ド・ラ・ミュージックで初演された。

最近の委嘱作品には、ピアニスト小川典子のためにフィルハーモニア管弦楽団(マーティン・ブラビンス指揮)が委嘱したピアノ協奏曲(名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同委嘱、ティエリー・フィッシャー指揮)のほか、読売日本交響楽団のためのオーケストラ作品、アルディッティ弦楽四重奏団のための弦楽四重奏曲(ウィグモア・ホール、上野学園 石橋メモリアルホール、エディンバラ国際フェスティバルの共同委嘱)、アール・レスピランのためのアンサンブル作品、イェレミアズ・シュワルツァーのためのリコーダー協奏曲、ロンドン・シンフォニエッタのためのコントラバス協奏曲、IRCAMとのヴィオラ独奏と電子音楽のための作品、ドナウエッシンゲン現代音楽祭のための木管三重奏(ムジークファブリーク)と電子音楽(ハインリヒ・シュローベル実験スタジオ)の作品、シカゴ交響楽団が委嘱したブーレーズ85歳記念の作品、グスターボ・ドゥダメルに献呈される作品などが含まれている。

Official website www.daifujikura.com



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

Tel.03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan

t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



アルディッティ弦楽四重奏団 **Arditti Quartet**

「アルディッティ弦楽四重奏団は、極めつきの現代音楽”大使”だ。
彼らの手にかかる、今日の音楽が腑に落ちる。だからもっと聴きたくなるのだ」
ピエール・ブーレーズ (2009年11月2日 パリ)

“The Arditti Quartet are among the foremost ambassadors of contemporary music.
Listening to their concerts makes you want to hear more and makes you deeply appreciate what
the music of today represents.”
Pierre Boulez Paris, 2 November 2009

「アルディッティ弦楽四重奏団は 20 年も前から、日本で言うところの”人間国宝”であり、現代音楽界での偉業は他
を圧倒している。
音楽好きなら彼らを聴き逃すことなどありえない」
サイモン・ラトル 2009年12月

“If the rest of the world were like Japan, the Arditti Quartett would have been living national
treasures for 20 years.

What they have done for contemporary music is unique. How they play it is unrivalled.
Simply put, they are required listening and nobody who cares about music should miss them.”
Simon Rattle December 2009

■アルディッティ弦楽四重奏団 **Arditti String Quartet** 略歴

メンバー:

アーヴィン・アルディッティ (第1 ヴァイオリン) Irvine Arditti, violin

アショット・サルキサン (第2 ヴァイオリン) Ashot Sarkissjan, violin

ラルフ・エーラーズ (ヴィオラ) Ralf Ehlers, viola

ルーカス・フェルス (チェロ) Lucas Fels, cello

1974年にアーヴィン・アルディッティが創設し、活動を開始。現代作品そして20世紀初期の作品の深い解釈と卓抜した演奏は、世界各地に広く知られ、高い評価を確立している。この30余年の間に、数百もの弦楽四重奏曲がアルディッティ弦楽四重奏団のために作曲され、バートウイスル、ケージ、カーター、ディロン、ファーニホウ、グバイドウーリナ、ハーヴェイ、細川、カーゲル、クルターク、ラッヘンマン、リゲティ、ナンカロウ、レイノルズ、リーム、シェルシ、シュトックハウゼン、クセナキスなどの作品を世界初演。日本人作曲家の作品も数多く録音・演奏。作曲家とともに作品の解釈を深めていく彼らの演奏を経て、それらの多くが今世紀の代表的なレパートリーとなっている。CDは170枚以上あり、フランスのレーベル、ナイーヴ・モンターニュからは、話題沸騰したシュトックハウゼンの「ヘリコプター・クアルテット」*1を含めてすでに42枚をリリースし、数々の現代作品をおさめ、また新ウィーン楽派の作曲家による作品の初デジタル録音となったこのシリーズは、1992年国際批評家賞を受賞。また、ベリオが亡くなる直前に、氏の弦楽四重奏曲を全曲録音した。創設以来36年、アルディッティ弦楽四重奏団は数々の賞を受賞。1999年にはエリオット・カーター作品集、2002年にはハリソン・バートウイスルのCDでグラモフォン賞を受賞。



ISHIBASHI MEMORIAL HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

Tel.03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan

t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



1999年には、「lifetime achievement=生涯の業績」としてエルンスト・フォン・シーメンス賞が授与された。日本での活動は、1988年に武満徹氏が氏の主宰するミュージック・トゥデイに招き初来日して以来、定期的に公演を行っている。2006年・2007年・2008年と連続してジョン・ケージの「アパートメントハウス 1776」から44のハーモニーをアルディッティが編曲したものを基に、コンテンポラリーダンスの白井剛(演出・映像・振付も)したダンスバージョン「44のハーモニー～アパートメントハウス 1776 より」*2を日本各地で公演、好評を得ている。

*1「ヘリコプター・クアルテット」=弦楽四重奏のメンバーが4機のヘリコプターに乗り、空中で演奏している音楽とヘリコプターのプロペラ音が、機内を移した4台のモニター映像とともにホールに中継される作品。1995年初演(アムステルダム)、最近では2009年にローマで再演された。*2「44のハーモニー～アパートメントハウス 1776 より」=1976年にアメリカ合衆国の建国200年を記念して、いくつかのオーケストラが合同でジョン・ケージに委嘱した作品。1999年にアーヴィン・アルディッティが編曲し、「44のハーモニー」として発表した。

■アーヴィン・アルディッティ (ヴァイオリン) **Irvine Arditti (violin)**

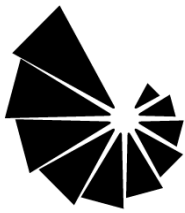
アーヴィン・アルディッティは「音楽家たちの預言者」だ。

ハリソン・バートウィスル 2009年5月12日

Irvine Arditti, "a prophet amongst musicians"

Harrison Birtwistle 12.5.09

1953年ロンドンに生まれる。16歳より王立音楽院でヴァイオリンを学び、1976年ロンドン交響楽団に入団。2年後25歳の時に副コンサートマスターになる。学生時代に創設し、すでに活動を開始していたアルディッティ弦楽四重奏団に専念すべく1980年にオーケストラを離れた。アルディッティ弦楽四重奏団の第一ヴァイオリンだけでなく、ソリストとしての活躍も目覚しく、彼のために作曲された数々の作品の世界初演を行っている。クセナキス「Dox Orkh」、細川「Landscape III」はヴァイオリンとオーケストラのための作品である。ディロン、ハーヴェイ、レイノルズ、シャリーノはヴァイオリンとアンサンブルのための作品をアルディッティに書いている。バイエルン放送響、BBC響、ベルリンドイツ放送響、コンサートヘボウ管、ミュンヘンフィル、パリ管、ロッテルダムフィル、アスコアンサンブル、アンサンブルモデルン、ロンドンシンフォニエッタ、シェーンベルクアンサンブルなどと共演。アルディッティ弦楽四重奏団としてのCD録音は170以上もあるが、アーヴィン・アルディッティ個人でもカーター、ファーニホウ、ドナトーニ、ノーノなどの無伴奏ヴァイオリン作品をCDにしている。ケージがソロヴァイオリンのために作曲した「フリーマン・エチュード」を、アメリカのModeレーベルに録音している。これはケージのヴァイオリン作品集の一部であり、音楽史でも貴重な歴史的録音となっている。さらに、ケージがアメリカ建国200年記念に作曲した「アパートメントハウス 1776」の44のハーモニーをアルディッティ自身が編曲をし、CD化した。また、ベリオ、クセナキス、ミラをモスクワ・フィルと録音。Bisからリリース。ベリオのヴァイオリンのための「セクエンツァ」は、2007年のドイツレコード大賞とイタリアの音楽誌「アマデウス」の現代音楽賞を受賞した。

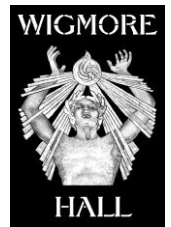


ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内
Tel. 03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan
t. +81 3 3843 3043 f. +81 3 3843 6254



DAI FUJIKURA – Biography

Dai Fujikura was born in Osaka, Japan, in 1977. Since coming to London at the age of 15, he has studied at Trinity College of Music with Daryl Runswick, the Royal College of Music with Edwin Roxburgh, supported by the PRS, and King's College London with George Benjamin.

Fujikura has gained international recognition by winning a number of prestigious prizes: 1st Prize in the Serocki International Composers' Competition (1998), the Huddersfield Contemporary Music Festival Young Composers' Award (1998), 2nd prize in the Toru Takemitsu Award (2003) and the Royal Philharmonic Composition Prize (2004), Internationaler Wiener Composition Prize (the Claudio Abbado composition award) in 2005, as well as being supported by the Society for the Promotion of New Music. In 2007 he was awarded Paul Hindemith Prize in Germany followed by Special Prize from the Giga-Hertz-Award 2008, Otaka Prize and Akutagawa Composition Award in 2009 and Kenzo Nakajima Music Prize in 2010.

Fujikura has received support from a wide variety of eminent musicians including Peter Eötvös, who acted as his mentor during the London Sinfonietta's innovative Blue Touch Paper scheme.

Blue Touch Paper, an 18-month project, resulted in the work "Fifth Station", premiered in February 2004 by the London Sinfonietta, conducted by Martyn Brabbins. This work was given further performances by Klangforum Wien and the Asko Ensemble.

Eötvös has continued to encourage Fujikura, and in October 2005 conducted the world premiere of "Vast Ocean" for trombone, orchestra and live electronics, with the Hilversum Radio Orchestra and Experimentalstudio Heinrich-Strobel-Stiftung, at the prestigious Donaueschingen Music Days festival.

Pierre Boulez has also supported Fujikura, and conducted the world premiere of the Lucerne Festival Academy's commission, "Stream State" for orchestra, at the Lucerne Festival in September 2005. "Stream State" immediately had further performances in Germany, Austria, Italy and Japan during 2006.

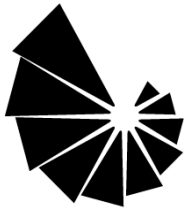
Fujikura made his BBC Proms debut with "Crushing Twister", August 2006, a BBC commission for the BBC Concert Orchestra, conducted by Charles Hazlewood. In the same year, his music was performed at the Chicago Symphony Orchestra's "Music Now" series.

Many of the world's leading contemporary ensembles and orchestras have commissioned and performed Fujikura's works including Ensemble Modern, The Asko/Schönberg Ensemble, Nieuw Ensemble, Ensemble Recherche, Klangforum Wien, OKEANOS, the BBC Symphony Orchestra, Ensemble Intercontemporain, I.C.E., BIT20, Vienna Radio Orchestra, New Japan Philharmonic, Melbourne Symphony Orchestra and the Tokyo Philharmonic Orchestra.

2007 saw commissions from the Ensemble Intercontemporain ("time unlocked") for the occasion of the ensemble's 30th anniversary, and an orchestral work with electronics, "swarming essence", a joint commission between the Orchestre Philharmonique de Radio France and IRCAM.

In 2008 April, one of Fujikura's largest works to date, "...as I am..." for mezzo soprano and large ensemble was premiered by Ensemble Intercontemporain, Lore Lixenberg, conducted by Susanna Mälkki in Cite de la Musique.

Recent commissions include a piano concerto for Noriko Ogawa and the Philharmonia Orchestra, conducted by Martyn Brabbins (co-commissioned by Nagoya Philharmonic, Thierry Fischer - conductor), Orchestra work for Yomiuri Symphony Orchestra, also several chamber works: a string quartet for Arditti String Quartet (commissioned by the Wigmore Hall and



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

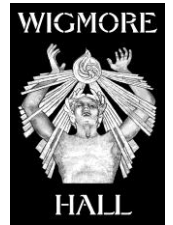
上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

Tel. 03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

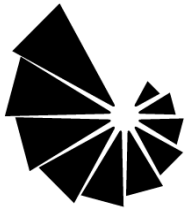
4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan

t. +81 3 3843 3043 f. +81 3 3843 6254



co-commissioned by Ishibashi Memorial Hall and the Edinburgh International Festival), an ensemble work for Art Respirant, a recorder concerto for Jeremias Schwarzer, a Double Bass Concerto for London Sinfonietta, an ensemble work for I.C.E., a work for solo Viola and electronics with IRCAM, a piece for Wind trio (musikfabrik) and electronics (Experimentalstudio Freiburg) for Donaueschingen Musik Tage, a Chicago Symphony commission for six cellos dedicated to Pierre Boulez's 85th birthday, an orchestra piece of "Tocar Y Luchar for orchestra" dedicated to Gustavo Dudamel's 30th birthday and El Sistema.

www.daifujikura.com



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

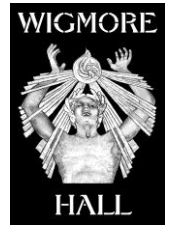
上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内

Tel. 03-3843-3043 Fax 03-3843-6254

4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan

t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



ARDITTI QUARTET - Biography

Irvine Arditti, Ashot Sarkissjan (vlns), Ralf Ehlers (vla), Lucas Fels (vc)

The Arditti Quartet enjoys a world-wide reputation for their spirited and technically refined interpretations of contemporary and earlier 20th century music. Several hundred string quartets and other chamber works have been written for the ensemble since its foundation by first violinist Irvine Arditti in 1974. These works have left a permanent mark on 20th century repertoire and have given the Arditti Quartet a firm place in music history. World premieres of quartets by composers such as Ades, Andriessen, Aperghis, Bertrand, Birtwistle, Britten, Cage, Carter, Denisov, Dillon, Dufourt, Dusapin, Fedele, Ferneyhough, Francesconi, Gubaidulina, Guerrero, Harvey, Hosokawa, Kagel, Kurtag, Lachenmann, Ligeti, Maderna, Nancarrow, Reynolds, Rihm, Scelsi, Sciarrino, Stockhausen and Xenakis and hundreds more show the wide range of music in the Arditti Quartet's repertoire.

The ensemble believes that close collaboration with composers is vital to the process of interpreting modern music and therefore attempts to work with every composer it plays. The players' commitment to educational work is indicated by their masterclasses and workshops for young performers and composers all over the world. From 1982 to 1996 the quartet's members were resident string tutors at the Darmstadt Summer Courses for New Music.

The Arditti Quartet's extensive discography now features over 170 CDs. 42 discs have been released as part of the ensemble's series on the French label Naïve Montaigne. The series presents numerous contemporary composer features as well as the first digital recordings of the complete Second Viennese School's string quartet music. Stockhausen's infamous Helicopter Quartet is to be found here. As well as many composer portraits recorded in their presence, the complete quartets of Luciano Berio were recorded shortly before his death. Latest releases include Harvey, Rihm and Lachenmann.

Over the past 30 years, the ensemble has received many prizes for its work. They have won the Deutsche Schallplatten Preis several times and the Gramophone Award for the best recording of contemporary music in 1999 (Elliott Carter) and 2002 (Harrison Birtwistle). The prestigious Ernst von Siemens Music Prize was awarded to them in 1999 for 'lifetime achievement' in music.



ISHIBASHI
MEMORIAL
HALL

上野学園 石橋メモリアルホール

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12 学校法人上野学園内
Tel.03-3843-3043 Fax 03-3843-6254
4-24-12 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-8642 Japan
t.+81 3 3843 3043 f.+81 3 3843 6254



Arditti Quartet; Jake Arditti countertenor

Thursday 3rd February 2011 - 7:30pm, Wigmore Hall

Performers (出演者)

Arditti Quartet, Jake Arditti (countertenor)†

Programme (曲目)

Clarke: String Quartet No. 2 (London première)

Ferneyhough: String Quartet No. 6 (London première)

Fujikura: **Flare (world première)**

'Commissioned by Wigmore Hall with the support of André Hoffmann, President of the Fondation Hoffmann, a Swiss grant-making foundation. Co-commissioned with the Ishibashi Memorial Hall, Tokyo and the Edinburgh International Festival

Paredes: Canciones Lunáticas (world première)†

About this concert (本公演について)

For this concert the Arditti Quartet presents four new premières, among them a new work by Japanese composer Dai Fujikura (b. 1977) – one of the most exciting young voices composing today. Jake Arditti brings the countertenor into the 21st century with the world première of a new work by Mexico's leading contemporary composer Hilda Paredes (b. 1959), based on poems by modern Mexican poet Pedro Serrano. The Arditti Quartet also presents new works by the English composers Brian Ferneyhough (b. 1943) and James Clarke (b. 1957).

Ticket Prices (料金)

£12 £16 £22 £26

Box Office (チケット)

Wigmore Hall, 36 Wigmore Street, London W1U 2BP, United Kingdom

Tel: +44 (0)20 7935 2141, Fax: +44 (0)20 7935 334, Email:
boxoffice@wigmore-hall.org.uk

<http://www.wigmore-hall.org.uk/whats-on/productions/arditti-quartet-jake-arditti-countertenor-26496#>